

芸術文化だより

第61号

令和6年3月25日

発行者

習志野市芸術文化協会

会長 中谷 時男

編集長 小笠原仁仙

◆習志野市芸術文化協会／広報◆

題字 吉原聚堂



「待ってた春が来た」

写真提供…美術会 細谷 雅男

今過ぎ行くこの一刻・一刻を有効に

習志野市芸術文化協会副会長

杉田 英男



今年も新年早々に、大地震や航空機事故、さらに大雪等と災害に悩まされています。皆さん助け合いながらの生活で心身ともに疲れ果てていることと思います。一刻も早くいつもの生活に戻れる事を願うばかりです。仲間たちと話し、自分さえよければ良いと思いませんが、習志野に住み平穏な暮らしができ感謝・感謝です。

さて習志野市芸術文化協会も平成二十三年では二十四連盟百四十五団体、七千四百五十名の会員の方々がおりましたが、令和五年では、二十一連盟九十八団体、三千八百七十一名になりました。文化、芸術を掲げる習志野市にとつてもちよつと寂しいです。昨年は一団体三十一名の入会者

が嬉しき限りです。退会の原因としては、皆さん歳「とし」を重ねたり、発表の場の変化などが原因かも？芸術協にも伝統文化を受け継いだ団体が沢山あります。皆さんの期待に応えられるよう頑張りたいと思います。

御多分に漏れず我が洋画サークルも全員が八十歳になりました。めでたいかぎりです。同じモチーフを描いても皆さん異なる絵になります、それが面白い。芸術協の春には芸術祭、秋には文化祭がありますので作品発表の場ができ励みになります。家の中に閉じこもっていても心身ともに老けてしまいます。何かの趣味を持ち家族以外のひとと話すことが健康の元と聞きます。私は毎日散歩にも出かけます。道を歩き、上を見れば椿、下を向けばパンジーなど絵にしたら面白いだろうなと色々感じながら、また近くには自衛隊の演習場が有り藪の中でウグイスの声も聞ける。

ウグイスも練習しないとあの美しいさえずり出来ないそうな・・・。声はするけど姿は見えず、姿は上の写真かと思いきや此れはメジロだそう。聞かなければ分からないですね。芸術協行事は他にもあります。視察研修旅行や新年会員交流会など、皆さんと交流を深めながら文化芸術を語り合っ行ってたなら幸せです。

受賞の喜び

教育功労者顕彰 表彰状

習志野市音楽協会連盟

千葉工業大学グリーククラブOB会

永富 伸男

この度、芸術文化協会より、ご推薦をいただき、教育委員より教育功労者顕彰をいただき、身に余る光栄でございます。

芸術文化協会をはじめ、音楽協会の皆様、また、多くの方々の温かいご指導のお陰と心より感謝しております。

千葉工業大学グリーククラブOB会は、母校の同窓会活動として、音楽協会連盟の会員として、習志野市音楽活動に参加しております。

秋の文化祭は、貴重な発表の場として参加をさせていただいて、メンバーの交流を深めております。

この先も、習志野文化ホールの再開を目指して、活動を続けて、合唱を通じて、地域の文化活動の一端を担っていただけたら幸いです。

今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。

教育功労者顕彰 感謝状

習志野市美術会

副会長 石橋 巨

この度は、習志野市教育委員会功労者顕彰を頂き、身に余る光栄と心より感謝申し上げます。

習志野市制施行七十周年に当たる今年、同じく私も習志野在住七十年になり、感慨深いものがあります。私は習志野市美術会創立に携わり、今や習志野市美術展も三十回を重ねました。市民の作品発表の場として担っていると共に、私も毎年彫刻作品を発表し続けています。これも芸術文化協会をはじめ、諸先輩方や多くの方々の温かいご指導のおかげと心より感謝申し上げます。

モリシアホールでの市展開催も改修のため今年で幕を閉じ、来年から他会場での開催になります。文化都市習志野の伝統と発展のためにも、会員、市民が創作発表、鑑賞できる場を確保することを切に願っています。今後とも精進して参りますのでご指導賜りますようお願い申し上げます。

習志野市芸術文化協会にお世話になり、十年になりました。この度習志野市教育功労者顕彰で感謝状を頂き、身に余る光栄でございます。この感激を胸に芸文協を更に盛り上げていきたいと思っております。

教育功労者顕彰 感謝状

習志野市芸術文化協会

副会長 杉田 英男

習志野市芸術文化協会にお世話になり、十年になりました。この度習志野市教育功労者顕彰で感謝状を頂き、身に余る光栄でございます。この感激を胸に芸文協を更に盛り上げていきたいと思っております。

習志野市美術会の役員も仰せつかつており、昨年度は第三十回記念市展を開催 受賞者展を習志野市役所展示スペースで行い好評を頂きました。

今年度もモリシアホール四階で行いますが、来年度はモリシアホールが使用出来ないようですので、良い場所の選定をしっかりとし、習志野市の文化芸術をしっかりと発信していきたいです。



令和五年度事業報告

令和六年度事業計画案

*第三十九回芸術祭

四月十四日～十五日

会場・習志野市民ホール

・モリシアホール

*習志野市芸術文化協会通常総会

五月十六日

・モリシア津田沼一階

*市展

九月十四日～二十四日

会場・モリシアホール

*市展受賞者選抜展

十月三十日～十一月二日

会場・市庁舎展示スペース

*習志野市芸術文化協会だより

第六〇号発行 九月

*市展

第六十一号発行 六年三月

*市民文化祭

十一月四日～十一月二十五日

会場・習志野市民ホール

*市展

九月十九日～二十九日

会場・モリシアホール

*習志野市芸術文化協会だより

第六十二号 九月

*市展

第六十三号発行 七年三月

*市民文化祭

十一月一日～十一月二十四日

会場・習志野市民ホール

*第四十回芸術祭

四月四日～五月十九日

会場・船橋市民文化会館

・モリシアホール

*習志野市芸術文化協会通常総会

四月二十一日

会場・習志野市民ホール

*市展

五月二十一日

*習志野市芸術文化協会通常総会

九月十九日～二十九日

会場・モリシアホール

*習志野市芸術文化協会だより

第六十二号 九月

*市展

第六十三号発行 七年三月

*市民文化祭

十一月一日～十一月二十四日

会場・習志野市民ホール

*市展

九月十九日～二十九日

会場・モリシアホール

*習志野市芸術文化協会だより

第六十二号 九月

*市展

第六十三号発行 七年三月

*市民文化祭

十一月一日～十一月二十四日

会場・習志野市民ホール

・サンロード六階
*習志野市民まつり参加
*視察研修
十一月十六日
*歳末チャリティーバザー
十二月二日・三日
会場・モリシア津田沼一階
*第四十四回習志野第九演奏会
十二月二十四日
*新年会員交流会
令和六年一月十五日

・サンロード六階
*習志野市民まつり参加
*視察研修
十一月十五日
*歳末チャリティーバザー
十二月七日・八日
会場・モリシア津田沼一階
*第四十五回習志野第九演奏会
十二月十四日
*新年会員交流会
令和七年一月二十日

視察研修

習志野市芸術文化協会 監事 白石 治

令和五年十一月十六日(木) 朝八時、参加者三十五名を乗せた大型バスは、市長、教育長の見送りを受けながら市役所前の駐車場を出発。途中、社内でビンゴゲームを楽しみながら、一路、群馬の富岡製糸場へ。

十一時頃、富岡製糸場に到着。まず製糸場の建屋をバックに記念写真。その後二グループにわかれて、ボランティアガイドについて一時間ほど見学。明治初期に建てられたと思えないほど保存状態がよく、ガイドさんの説明もわかりやすく、明治初期の苦しい国家財政を絹製品の輸出が支え、その後の国家建設の礎を築いたという話や、当時の招聘フランス人技師、女性作業員の厚遇ぶり、特に女性作業員のベランダ付きのしやれた宿舍や、給与が日本人女性作業員の数十倍だったというのにはビックリ。

この後バスで少し行ったら、ちばな源氏庵というところで昼食。皆、和気あいあいと食事。今回は参加者三十五名中、男性はわずか五名、後は全て女性だったせいかわやかな感じの昼食でした。

その後、これもバスで少しのこんにやくパークへ。ここはその名の通り、こんにやくだらけ。普通のこんにやくから、なんでもかんでもこんにやく。よくもまあこんにやくにやくが使われているもんだと感心。帰りにお土産として全員に糸こんにやくを頂く。

最後はバスで一時間ほど行ったら、高崎市にある群馬県立歴史博物館へ。当初の予定ではすぐ隣の県立近代美術館の予定だったが、当日美術館とのことで急遽変更。バス駐車場から木々に囲まれた広い敷地の中を歩いて近代美術館を横目に見ながら、博物館へ。中は近郊の古墳から出土した埴輪、それも国宝がズラリ。これにはびっくり。陶芸をやっている私としてはこれは儲けもの、近代美術館よりこっちはほうがよかつたなんて内心思いながらカメラに収めながらじっくり見学。

この後、帰途に就き渋滞等の影響もあり、少し予定よりも遅れたが。無事、市役所駐車場に到着。お疲れさまでした。



新年会員交流会

習志野市華道協会 小林 理裕

平成六年一月十五日(月)、芸術文化協会新年会員交流会が今年もホテルグリーンタワー幕張で開催されました。

今年のオープニングステージは、音楽協会連盟の混声・男性合唱団の美しいハーモニーで始まりました。新春を寿ぐ「一月一日」の歌、続けて懐かしい童謡メドレー、そして男性合唱による力強いハーモニーが響き渡り、終わ

りに習志野市歌を全員で歌い、会場が一体になりました。総合同会は澤田副会長、始めに、小笠原副会長の開会の言葉で華やかに会は始まりました。

中谷会長の挨拶に続き、ご来賓の諏訪副市長、小熊教育長のご祝辞をいただきました。ご多忙の中駆けつけて下さった宮本市長、佐々木市議会議長よりご祝辞をいただき、ご出席のご来賓の皆様を坂東監事より紹介がありました。続いて社会福祉協議会へ寄付金の贈呈がありました。

ここで、習志野文化ホール植松理事長による乾杯のご発声でお食事、歓談となりました。テーブルでの間隔をとる、料理は一人分ずつ分けて配膳する等、コロナに配慮した宴になりましたが、和やかに歓談できました。

歓談の中で宮川会計より会員紹介が始まると、全員が一人一人に拍手で向き合う光景は素晴らしいと思えました。普段お会いすることのできない他連名の方々との交流は学ぶことも多く有意義な時間となりました。

いよいよお楽しみみの福引きとカラオケです。役員や会員の方の好意による景品が並び当選番号が発表されると幸運を射とめた会員にお祝いの拍手がおこりました。カラオケ

は喉自慢の方が次々と登壇し、その歌声に拍手喝采でした。また、洋舞連盟のフラダンスに魅了され美しさに引き込まれました。

あつという間に楽しい時間は過ぎ、全員で習志野音頭を会場一杯輪になって踊りました。手ぶりよく上手に踊る人、見よう見まねで踊る人、みんな違っていいですね。

交流会は親睦と理解を深めて明日への活力を得る会でもありました。来年も続きますように。 杉田副会長の閉会の挨拶で新年会委員交流会は終了致しました。



各団体活動状況

創立一〇周年・第五回定期演奏会を迎えて 習志野混声合唱団

団長 森本 宗則

習志野混声合唱団は、二〇一四年六月に結成されました。まもなく一〇周年を迎えます。

四月二十一日(日)には第五回目の定期演奏会を京成青砥のモーツァルトホールで行います。是非ご来聴ください。

これまで平均すると二年に一度の割合で演奏会を行ってきたことになりませんが、毎回多くのお客様にお運びいただきましたことに改めて心から御礼申し上げます。

コロナ禍で団員がほぼ半減してしまつた時期もありましたが、こうして満二〇歳、第五回の節目を迎えられるのも、偏に皆様のご支援の賜と存じます。本当にありがとうございます。

四月の演奏会では、四〇〇年以上前に作曲されたW・バードの「四声のミサ」と高田三郎の「マリアの歌」という宗教色の濃い作品に加え、東京混声合唱団愛唱曲集から皆様

お馴染みの曲を、そしてメインとして我が国合唱曲の中でも名曲中の名曲である團伊玖磨の「筑後川」を演奏します。

老若(老々?)寄り集まりのアマチュア合唱団にとつていずれも難曲ばかりですが、神尾昇先生、マグルーダー雅子先生の熱心なご指導の下、公民館で毎週練習を重ねてきました。

人の声というのは、強弱やフレージング、息遣いの自在さなど、あらゆる楽器の中で最も優れた表現力を持つ楽器だと思えます。そして何より「言葉」を発することができます。

男女四つのパートが融け合い、時によつかりながら、作詞者・作曲者が描こうとした世界を「声」で表現していく、そうした合唱の魅力を皆様にお届けできたら、私たち団員一同これにまさる幸せはありません。

常時団員募集中です。音楽が好きの方、歌うことが好きな方、是非一緒に歌いましょう。まずは「ご連絡ください」(演奏会情報・団員募集は「習志野混声合唱団」ホームページで検索ください。)



コンサート情報 (R6.4月~8月)

習志野混声合唱団 第5回定期演奏会

2024年4月21日(日) 14時開演 かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

習志野ウインド・オーケストラ 第35回定期演奏会

2024年4月28日(日) 八千代市市民会館

マンドリンクラブエレガンス 第42回エレガンス マンドリンコンサート

2024年6月29日(土) 14時開演 佐倉ハーモニーホール

習志野フィルハーモニー管弦楽団 第103回定期演奏会

2024年7月21日(日) 14時開演 かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

習志野シティーフィルハーモニック 第78回定期演奏会

2024年8月18日(日) 14時開演 千葉市民会館

ウインドミルオーケストラ 第50回定期演奏会

2024年8月25日(日) 14時開演 かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

ちば室内管弦楽団 第57回定期演奏会

2024年8月25日(日) 14時開演 千葉市民会館

茶道の楽しみ
習志野茶隆会
 代表 内藤 宗庵

千利休によって大成された茶の湯は、四百年以上にわたって受け継がれています。長い歴史の中でその在り方を模索しながら、時代にあつた生き文化として今日に伝えられています。

茶道というと細かい作法や礼儀があることから敷居が高いと思われがちですが、茶道の根本は、おいしいお茶をいただき、主客ともに楽しむ、心を通い合わせる事です。何も堅苦しいことはなく、季節を感じられるようにしつらえた茶室の中で、豊かになつていく心を感じつつ、しきたりや振る舞いを自然に身につけていく。古き心を学び生活に活かせるような稽古を心がけています。

茶道にはいくつか流派がありますが、茶隆会は表千家のお茶を学んでいます。

四月の芸術祭、十一月の文化祭には、お越しいただいたお客様が心温まるようなおもてなしができるよう日々稽古を重ねてまいります。



「アロハフェスティバル in 習志野」10周年を迎えて
ハワイアンブリーズ
 草深 千沙子

光陰矢の如しの言葉通り本当に時の経つのは早いものだと実感している昨今です。思い起こせば今までの様々な事柄や状況が走馬灯の様に甦つてまいります。特に初回を催すに際しては不安と期待が入り混じり、緊張感で夜中に眼を覚まし抜け落ちがないかな等、些細な事に気をもんでいたことが今では懐かしく思い出されます。そして何よりも誰もが不自由な生活を強いられた新型コロナ禍での開催です。夫々のグループも練習さえ思うように出来ない状況に中止という選択も当然ありましたが、そんな時だからこそ少しでも明るい笑顔と華やかな踊りを皆様届けたいと芸文協事務局を始め出場者皆の熱意と協力で開催にこぎつけました。考えられる万全の対策を施し、結果としても感染者を出さずとも無事に開催出来た事が誇らしく安堵と感謝の気持ちでいっぱいでした。これはフラを志す人は誰しもが耳にする「アロハの心」が出場者全ての方々の心に行き渡っていた賜物と確信して

おります。フラにおける「アロハの心」とは他の人格を尊重し思いやりを持つて謙虚に接する気持ちや心遣いを意味する言葉です。フラだからこそ成し遂げられたコロナ禍での開催だつたと思います。昨年は習志野文化ホール閉館に伴いプラッツ習志野での開催となりました。文化ホールに比べ会場が狭かつた事で出場の方々と観客の皆様には窮屈な思いをさせて申し訳なく心苦しい気持ちになりました。そうした変遷の中で今年は芸文協の多大なる計らいで船橋市民文化ホールに於いて開催出来る運びとなります。習志野文化ホールに匹敵する舞台に出場予定者も皆がアロハの心を胸に新たな意気込みで日々練習に励んでいます。市民の皆様には今迄通りのご支援とご協力をお願いすると共に、どうか会場へ足を運んで頂きフラやハワイアンのバンド演奏を存分に楽しんで頂きたいと思えます。



第四十回 芸術祭 行事案内

船橋市民文化ホール

舞踊会

日舞サークル連盟

花柳 龍由

習志野文化ホールの休館に伴い、今回の舞踊会は船橋市民文化ホールで行うことになりました。

そして本来の芸術祭日程より少し早い平日四日の午後開催となりました。

初めての会場、しかも平日ということでも少々不安もありますが、参加者一同、会に向けて日々稽古に励んでおります。たくさんの方のご来場を心よりお待ちしております。

初心にかえり

ハワイアンブリーズ
草深 千沙子

芸術祭が第40回を迎える機に「アロハフェスティバルin習志野」は10周年という記念すべき節目を迎えます。様々な状況変化があつた中、芸術祭の一翼を担うまでに育てて下さった関係各位を始めフラの仲間達に誌面を借りて厚く感謝申し上げます。

参加させていただき、ちば室内管弦楽団です。

自主公演では管弦楽の名曲を取り上げて開催しております。

今年始早々から能登半島地震が起きる等悲しい出来事の幕開けとなりましたが、新たな舞台で初心に帰りフラの明るい笑顔と華やかな踊りで皆様に憩いの一時を届けようと練習に励んでいます。

プラッツ習志野市民ホール

演奏会

邦楽連盟

琴・三絃 園磨友の会

第四十回という節目の会に出演させていただくこととなりました。

今回は邦楽に馴染みのない方にも楽しんでいただけるように、古くから弾き継がれている曲に加えて、ポピュラー音楽を演奏いたします。

聴き覚えのあるあの曲。ご来場の方々に口ずさんで貰えるような演奏を目指します。

初参加の芸術祭

ちば室内管弦楽団

統括 中島 悦子

昨年、習志野市芸術文化協会に加盟し、初めて芸術祭に

春の祭典邦楽演奏

習志野市三曲協会

会長 是木 修顕

芸術祭に参加させて頂けます事、大変うれしく思います。三曲協会の先鋭メンバーで二曲演奏いたします。北海民謡調はリズムのあるそうらん節と哀愁のある追分節からなり、北海情調を満喫して下さい。

夕顔は江戸時代に作曲された三曲合奏の原点、古曲の名作です。源氏物語の夕顔の巻です。夕顔の花の咲き乱れる庭に住む、高貴な身分の女性には無い、ひっそりとした娘の魅力にとりつかれた光源氏の恋の物語と悲劇を歌っています。どうぞお楽しみ下さい。

名曲の楽しみ

習志野フィルハーモニー管弦楽団

団長 山口 憲次

今までなかなかタイミンクが合わなくて失礼していた芸術祭に今回出演させていただくことになり現在練習に励んでいます。厚く御礼申し上げます。

プラッツでの公演ですが全員参加にして一度には乗り切れないので3つのグループに分けて交代でステージに立たせていただきます。

クラシック音楽のポピュラーな名曲をお楽しみいただけるよう選曲しました。

若手団員のソロによるモーツァルトのファゴット協奏曲もあります。ご期待ください。

切手展

習志野郵便会

檜垣 廣政

花切手の元祖的存在である昭和三十六(一九六一)年「花シリーズ」以降、昭和五十九(一九八四)年「高山植物シリーズ」、普通切手「動植物シリーズ」、日本の自然シリーズの一部、その後ご当地発売「ふるさと切手」に花を題材とした花切手の発行が全国各地で続いている。

使用された消印(初日印)の図柄にも楽しめるよう「初日カバー」での展示としましたが、ここには日本全国の花が満開です。

陶芸展

習陶会

原 信武

習陶会は、本年創立五十周年の節目を迎えます。

陶芸の技術や知識を共有し、初心者から経験者まで、幅広いレベルのメンバーが在籍しており、メンバー同士の交流も大切にし、作陶に励んでいます。

今回も個性豊かな作品を展示できることに感謝しております。陶芸を通じて地域の芸術活動の一翼を担うことを目指して、地域のイベントでの展示や

絵画展

習美会

中谷 時男

世界的に変動の中、安心して創作活動が出来る事に感謝しつつ、制作した作品を展示致します。ゆつくりとご覧いただければ幸いです。

モリシアホール

春、歳末チャリティーバザーなども積極的に行っており、同時開催の、春のチャリティーバザーで個性豊かな作品を、展示販売しておりますので是非ご来場ください。

書道展

書道連盟

吉原 聚堂

サークルを終えた年配の人間がおしゃべりしながら楽しんで帰って行きます。

様々な文化を学び充実した時間を過ごし、仲間とのおしゃべりはどんなにか楽しいのでしょうか。そんな姿を見ると、こちらまで心が温かくなります。

その人達の発表の場としての芸術祭もその一翼を担い、学ぶ人の向上の場として充実した場所を提供しなければなりません。

指導する人の向上は尚更の事と思っておりますので絶えず自分に厳しく努力をして行きたいと思っております。

華道展

習志野市華道協会

小笠原 仁仙

昨年五月の「五類感染症」移行に伴い、コロナウイルスに関しては共存の道が見え、文化活動も各々力強く歩み出しております。

当協会も出併者一同、花の心に寄り添いながら生け込みました花々を通し、日本の四季の中に息づいている文化を感じ取りただければ幸いです。流派の特徴を生かした作品で、皆様方のご来場をお待ちしております。

茶席へのお誘い

習志野市茶道協会

楠川 宗尚

習志野市茶道協会は、茶道文化の普及を願い芸術祭・文化祭での茶席を始め、年八回の日曜茶会、年一回の春又は秋の茶会、習志野市伝統文化こども教室の開校など、会員一同で活動しております。季節の花を愛で、美味しいお茶とお菓子を味わい、その時どきのお軸や道具などを鑑賞しながら豊かな時間を感じて頂けたらと考えています。

四月の芸術祭への参加は、年度初めの茶会になりますので多くの皆様に楽しいひと時を過ごして頂きたく、御案内申し上げます。

枝折戸を開き茶席へ

習志野茶隆会

内藤 宗庵

令和二年の春から約三年にわたり茶の湯においても不自由な状況が続きました。茶の心、もてなしの心とは何かを見つめ直す時間でもありました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更になり、ようやく本来の稽古ができるようになりました。人と人が対面する喜びを改めて感じております。

今回の芸術祭にもモリシアホールに於いてお茶を差し上げる機会をいただきました。床をつくり、畳を敷き、茶室に似た空間を設け、皆様に楽しんでいただきたいと思っております。当日は、衛生管理に十分留意し、季節のお菓子とお茶をご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。



習志野市制施行70周年記念

習志野市芸術文化協会

第40回

芸術祭

《船橋市民文化ホール》

4月4日(木) 15:00~18:00 日舞サークル舞踊会 入場無料

4月19日(日) 12:00~16:00 アロハフェスティバル in 習志野 入場料300円

《プラッツ習志野市民ホール》 入場料無料

4月21日(日) 13:00~16:00 春の祭典2024 (ちば室内管弦楽団・習志野市三曲協会 琴・三絃園磨友の会・習志野フィルハーモニー管弦楽団)

《モリシアホール》 入場無料

4月12日(金)~14日(日)10:00~17:00 (初日13:00から/最終日16:00まで) 絵画展 書道展 蒐集展(切手) 陶芸展 華道展 和紙ちぎり絵展 茶道(お茶席400円 13日習志野市茶道協会 14日習志野茶隆会)

同時開催

13日(土)・14日(日) 習陶会 チャリティーバザー モリシア1階

令和五年度市民文化祭を終えて

習志野市民音楽祭を終えて

音楽協会連盟

佐久間 泰宏

本年度の習志野市民音楽祭は昨年十一月四日(土)にプラッツ習志野にて開催しました。

昨年までは習志野文化ホールにおいて開催してきましたが、休館に伴い本年度は会場を移しての開催となりました。ステージの広さの制約などから参加団体が昨年より減少しましたが、オカリナ・吹奏楽など器楽演奏から、女声・男声・混声合唱まで合計九団体が日ごろの練習の成果を披露しました。

開演時には習志野市長および市議会議長よりステージ上から出演者並びに会場の皆様に向けてご挨拶をいただき、休憩をはさんで約二時間半の音楽祭となりました。

昨年までの習志野文化ホールでは、舞台の段差が上がることで数十名で演奏されていたマンドリンをはじめ、人数が多い団体が今回参加できなかったことは今後の課題として、検討していかなければなりません。

まだだいたい先のことですが、

新しい市民文化ホールでの市民音楽祭の開催を期待したいと思います。

最後に、市民音楽祭の開催に際し前回までと異なる会場となったプラッツ習志野との調整その他、大変お世話になりました。習志野市芸術文化協会および習志野市教育委員会生涯学習部の皆様に紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



習志野短歌会

〈枕詞に挑戦してみよう〉

ぬばたまの夜腹道ひて日記を書く出会ひし人の名前たれかれ

藤野 宏子

夏草の深き眠りのそのままに叔母逝き給う葉書届きぬ

中村 ひろ子

たまきはる命をかけて弾くピアノ青木智哉のデイズニーの世界

石井 喜久江

亡き人の声懐かしき暮参り夏ころもうすく蝉の声聞く

山田 澤子

熱発のわれの求めに白桃をむくわかくさの夫たどたどし

吉村 咲子

道の駅「紅こまちの郷」さにつらふをとめと思ふ紅さつまいも

石井 雅子

あしがきの吉野の山の花を見しかの日も友もみなみなおぼろ

石井 由美子

清丹よし出張したる子いまごろは庚申さんの揺れる奈良町

森 みずえ

習志野市市民文化祭

第四十二回

短歌大会互選賞

第一位

黒岡 美江子さん (佐倉)

第二位

石井 雅子さん (習志野)

第三位

近藤 クニさん (千葉)

第四位

藤井 京子さん (八千代)

第五位

高谷 芳子さん (習志野)

第六位

四斗樽に白菜漬けし若き日よ今日一皿の漬物を買う

第七位

少しづつ思考の範囲狭まれる夫のいらだち、われのとまどひ

第八位

少しづつ思考の範囲狭まれる夫のいらだち、われのとまどひ

第九位

少しづつ思考の範囲狭まれる夫のいらだち、われのとまどひ

第十位

少しづつ思考の範囲狭まれる夫のいらだち、われのとまどひ

事務局だより

この度の能登半島地震で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

今年度芸術祭は第四十回を迎えます。今年も文化の祭典を皆様とご一緒に実施できることに感謝し、会員の皆様の発表を支援していきたいと存じます。開催会場はプラッツ習志野市民ホール、モリシアホール、船橋市民文化ホールの三か所にて実施されます。日にちも異なっておりますので確認の上お出かけください。多くの方のご来場をお待ちしております。

尚、芸文協の事務所は令和六年度も引き続き習志野文化ホール内となります。

(三戸 良子)

編集後記

コロナがようやく下火になり日本中のいろんな活動が以前通りに動き始めた感があります。

今年はまだ年明けから、北陸の大地震があり、毎日、心の痛む映像が流れています。日常の普段の生活が送れるということがどんなに感謝すべきことなのかしみじみ感じている毎日です。

一日一日の時間を大切にしながらと改めて思います。

このお便りが出る頃には少し地震のあとも落ち着いていることを願わずにはいられません。

(森 みずえ)

習志野市芸術文化協会事務所

〒275-0026

習志野市谷津一―一六―一

習志野文化ホール内

☎&FAX 〇四七(四七五) 六八二二